

一般社団法人日本歯科専門医機構
令和6年度第2回理事会（臨時） 議事録

1 開催日時 令和6年5月23日（木）14時00分～16時15分

2 開催場所 日本歯科専門医機構 事務所（ハイブリッド形式）

3 出席者（敬称略）

(1) 理事数（定足数）ならびに出席理事数とその氏名（敬称略、順不同）

理事現在数 15名（定足数8名）

出席理事数 9名

出席者 会場参加 今井 裕、砂田勝久、伊藤孝訓、木本茂成
古郷幹彦、浅海淳一、松村英雄、宮脇正和

WEB参加 豊田郁子

欠席者 藤田一雄、鳥山佳明、村上伸也、小方頼昌
丹羽 均、丸川珠代

(2) 監事現在数ならびに出席監事数

監事現在数 2名

出席監事数 2名

出席者 会場参加 横山敏秀

WEB参加 永井裕之

(3) オブザーバー

会場参加 丸山高人、市川哲雄

WEB参加 厚生労働省医政局歯科保健課 大坪真実課長補佐
厚生労働省医政局歯科保健課 中園健一課長補佐
木村博人

議長は、定款31条第1項により理事長が務める旨報告され、定足数の充足を確認し本理事会の成立を宣した。開会に先立ち、本日の理事会には、丸山高人顧問弁護士、厚生労働省医政局歯科保健課から大坪課長補佐並びに中園課長補佐、木村博人専門医申請学会評価認定委員会委員長、市川哲雄専門医制度整備委員会委員長がオブザーバーで出席する旨が報告された。

4 開会の辞

伊藤業務執行理事が開会を宣し開会した。

5 挨拶

今井理事長より、理事会を始めるにあたり挨拶があった。

厚生労働省医政局歯科保健課 大坪課長補佐より挨拶があった。

6 令和5年度第8回理事会（定例）議事録（案）の確認

砂田専務理事より、令和5年度第8回理事会（定例）議事録（案）について説明があり、基本的に了解が得られた。なお、意見、修正等がある場合には1週間以内に事務局に連絡するよう依頼された。

また、令和6年度第1回理事会（メール会議）議事録については、既に先生方にご確認いただき承認を得ている旨の説明がされた。

7 報告

(1) 庶務報告

砂田専務理事より、令和6年3月12日以降に開催した会議等について報告があった。

(2) 会計報告

木本業務執行理事より、令和6年4月1日から令和6年4月30日までの会計収支計算書について報告があった。

(3) 委員会報告

① 砂田専務理事より、専門医申請学会評価認定委員会において矯正歯科専門医制度（仮称）ならびに保存歯科専門医制度（仮称）の制度審査が行われ概ね妥当として合意された旨の報告がされた。

② 浅海理事より、共通研修評価認定委員会における各学会からの申請ならびに認定状況について報告された。

③ 古郷理事より、専門医制度総務委員会において、諮問に基づき役員の報酬等に関する規程ならびに委員等の報酬・旅費に関する規程の見直しについて協議したことが報告された。また、研修施設に対する審査・認定料の設定について協議したことが報告された。

(4) 新たな専門領域に関する協議の進捗状況

砂田専務理事より、新たな専門領域に関する協議の進捗状況として、インプラント歯科専門医、総合歯科専門医、歯科保存専門医ならびに矯正歯科専門医に関する協議の進捗状況について報告があった。

(5) 厚生労働省委託事業

砂田専務理事より、厚生労働省委託事業について第3回委員会の開催状況ならびに厚生労働省あてに事業実績報告書を提出した旨の報告があった。

(6) 医療機能情報提供制度・医療広告等に関する分科会

砂田専務理事より、医療機能情報提供制度・医療広告等に関する分科会に今井理事長が参考人として出席した旨の報告があった。

また、当該分科会にて基本領域に対する学会認定専門医については、令和10年度末を目途に経過措置を終了する案が協議されたことが説明された。

(7) 学会認定専門医を広告可能とする経過措置の終了について

砂田専務理事より、医療機能情報提供制度・医療広告等に関する分科会での協議

を踏まえ、学会認定専門医を広告可能とする経過措置の終了に関する事務連絡が厚生労働省から先行5学会あてに発出されたことが報告された。

松村理事より、今後、告示等の改正が行われるのかとの質問に対し、砂田専務理事より当該事務連絡の中で、今後、告示等の改正が行われる予定である旨の記載があることが説明された。

また、今井理事長から、当該分科会に出席した際に患者代表の委員から歯科における名称の不透明さという点について問題提起され、これまでの周知不足等もあり、今後は我々と学会にて名称の理解を深める働きかけを行うことで理解を得た旨の説明がされた。

(8) ワークショップ報告書

伊藤業務執行理事より、報告書ならびに発送リストも完成し、現在、印刷作業に入っている旨の報告があった。

(9) 広報活動について

砂田専務理事より、漫画制作の進捗状況ならびに諸物価高騰により制作費の追加請求があったことが報告された。

(10) 認定証について

砂田専務理事より、認定証の印刷、発行に関し、年度毎の進捗状況について報告があった。

(11) 令和6年度制度審査について（更新）

砂田専務理事より、今年度、広告可能な5学会が制度更新を予定している中で、各学会から申請にあたり苦慮している点等があれば機構事務局あて照会を受け付け、回答する予定がある旨の報告があった。

(12) 令和6年度運用審査について

砂田専務理事より、令和6年度運用審査の申請時期については、今年度、役員の改選時期にあたり新執行部が発足してからとなるため、昨年度より各学会あての申請案内が遅れる予定であることが報告された。

(13) 事務所移転について

砂田専務理事より、日本歯科専門医機構事務所の移転が終了した旨の報告があった。

また、移転等に関する施工業者の選定については3社から見積を取り、厳正な協議を行い決定した旨の説明がされた。

(14) 機構主催共通研修の追加開催について

砂田専務理事より、機構主催共通研修の追加開催を本年8月ごろ予定しているとの報告があった。

8 審議事項

今井理事長より、第1号議案から第4号議案については関連事項であるため、一括して報告のうえ審議いただく旨が提案され、了解を得た。

第1号議案 令和5年度事業計画（案）

今井理事長より、令和5年度事業について事業報告書ならびに事業報告書（総括）に基づき、「共通研修」、「専門医制度等の広報活動」、「財政とガバナンス」、「歯科専門医のデータベース」、「事務局の在り方」ならびに「整備指針等の見直し」等について説明がされた。

第2号議案 令和5年度決算（案）

木本業務執行理事より、令和5年度決算（案）について説明がなされた。歳入の部では機構主催共通研修の追加開催等により予算収入が増えたことが報告された。歳出の部では、制度整備関連事業ならびに新規専門医制度関連事業が高い執行率となったこと等が報告された。

第3号議案 令和5年度特別予算決算（案）

木本業務執行理事より、令和5年度特別予算決算（案）について説明があった。事務所移転に伴う令和5年度の支出状況について説明がされた。

第4号議案 令和5年度事業及び収支決算の監査

横山監事より、令和5年度事業報告（案）ならびに決算（案）について職務執行監査を行い、事業報告は法人の状況を正しく示しており、不正行為または違反する事実は認められない旨の報告がなされた。また、今後、安定的に中立・公正な団体として、持続可能な運営のためには、安定した財源を確実に確保していくことが必要との意見が出された。

4議案一括して採決したところ、全会一致で承認された。

第5号議案 令和6年度特別予算（案）

木本業務執行理事より、令和6年度特別予算（案）について説明がなされた。事務所移転に係る予算を特別予算として組む案の提案に対し、理事からは特に意見はなく、審議の上承認された。

第6号議案 役員候補者（案）の推薦

丸山役員候補者選考会議議長より、選考の過程について説明があり、次期役員候補者（案）が示された。これに対し理事からは特に意見はなく、審議の上承認され、社員総会に上程することとなった。

第7号議案 役員の報酬等に関する規程の見直し

丸山専門医制度総務委員会委員長より、諮問に基づき専門医制度総務委員会において役員が休日に業務を行った場合の報酬に関する協議結果を報告するとともに規程の見直し案が示された。これに対し理事からは特に意見はなく、審議の上承認され、社員総会に上程することとなった。

第8号議案 委員等の報酬・旅費に関する規程の見直し

丸山専門医制度総務委員会委員長より、諮問に基づき専門医制度総務委員会において委員等が休日に業務を行った場合の報酬に関する協議結果を報告するとともに規程

の見直し案が示された。これに対し理事からは特に意見はなく、審議の上承認された。

第9号議案 役員候補者選考会議委員に対する謝礼

今井理事長より、役員候補者選考会議については社会的地位の相当高い先生方に貴重な時間をいただき膨大な資料を基に複数回に亘り協議をいただいていること。このことから、規程に基づき、理事会が必要と認めた業務として一定の謝礼として1回1万円程度の支給を承認いただきたい旨の説明がなされた。これに対し理事からは特に意見はなく、審議の上承認された。

9 協議事項

(1) 日本歯科専門医制度概報（仮称）の作成について

松村理事より、日本歯科専門医制度概報（仮称）の作成について提案があり、今井理事長より、実務者会議では前向きな方向で検討しており、理事会においても同じ意見で纏めていただきたい旨の説明がされた。ただし、事務局職員の体制等が整い次第作成する方向で進めていきたい旨の発言があった。

(2) 今後の機構運営について

今井理事長より、理事会等で協議した内容が各学会に伝わっておらず、業務に支障をきたすことがあることから、各理事の先生方におかれては所属の学会に適切に伝達していただきたいとの説明がされた。

これに関連し古郷理事より、学会や総会等で説明はしているが、なかなか理解いただけていない状況であり、共通研修の取扱いについても同様に未履修者が多く、改めて機構主催の共通研修を実施いただきたい旨の説明がされた。

宮脇理事からは、我々の身近な開業医の先生方が今後専門医としてどのように構築されていくのかとの質問があった。

今井理事長より、これまでの歯科の実態と、それに対して新しい歯科の形を目指すための生涯研修について説明があり、制度構築には時間がかかる旨の発言があった。

厚生労働省歯科保健課中園課長補佐より、引き続き、より質の高い専門医制度に向けて協力いただきたい旨の説明がされた。

10 その他

(1) 次回理事会日程

次回以降の理事会等開催日について連絡があり、令和6年6月20日午後2時から理事会、午後3時半から社員総会、午後5時から次期理事予定者の会が開催される旨報告があった。

11 閉会の辞

木本業務執行理事から、議題の審議等が終了した旨が宣され、閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、定款第33条に基づき代表理事及び監事は記名押印する。

令和 年 月 日

議長・議事録作成者

理事長 今井 裕 (印)

監事 横山 敏秀 (印)

監事 永井 裕之 (印)